

リサイクルトナーの製造販売などを手がけるケイティケイ（本社名古屋市、青山英生社長）は、全国の企業、自治体、個人のSDGs（持続可能な開発目標）活動をインタビュー記事や動画で紹介する情報メディア「EARTH NOTE（アースノート）」を立ち上げた。子会社所属のライターが取材に当たり、優れた取り組みを広く発信することでSDGsの目標達成に向けた活動を活性化する狙いだ。（野田哲示）

リサイクルトナー製造販売の ケイティケイ

「業界、規模を問わず、全国の取り組みを紹介して互いの活動を高め合う場になりたい」と語るメディア担当者



記事や動画で取引先などの活動を紹介

テーマはフードロスの削減や原材料のリサイクルなど多岐に渡る。また、「SDGsトレンド」欄では海洋プラスチック問題や難民問題など、SDGsの17の目標について最新情報を発信。閲覧を増やすため、交流サイト（SNS）のツイッターを活用してサイトの告知もしている。

同社の取引先は全国で約1万5千社あり、SDGs活動に関する相談を受ける機会が多かった。青山社長は「ここ1、2年で取引先を中心に、SDGsを意識する企業が急増している。全国の優れた活動を周知する場が必要ではないかと考えた」と話す。

同社はリサイクルトナーの製造販売が主力事業。リサイクル製品を通じて環境負荷の低減に貢献するほか、工場で太陽光を使った再生可能エネルギーの活用、障害者雇用の推進など、さまざまなSDGs活動を推進している。事例を共有することで目標達成の機運を醸成する。

アースノートはSDGs活動の周知に特化したウェブメディアで、6月末に立ち上げた。ケイティケイとの取引先に限らず、全国の企業や自治体、学校におけるSDGs活動を無料で取材し、特設サイトにインタビュー記事や紹介動画を掲載している」と意気込んでいる。